

毎週日曜発行
2026 6/7

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みなは手話通訳士って知ってる？ 耳が聞こえる人と聞こえない人を手話でつなぎ、意思疎通を図るお手伝いをしてるんだよ。一般的には手話通訳者と呼ばれるけど、高度な知識や技術を身に付けた人は手話通訳士になれるんだ。手話通訳士の高田ルリ子さん(54)は仙台市泉区に、どんな仕事をしているのか話を聞いたよ。

手話通訳は、言葉を一字一句そのまま表現するだけでなく、日本語を手話に置き換えて伝えます。通訳の最中は手だけでなく、頭の中もフル回転させています。首や肩にも負担がかかるので、記者会見のような連続で行う場面では10〜20分を目安に交代します。手話通訳の仕事で多いのは、耳に障害がある人が病院を受診するときの付き添いです。このほか、子どもの授業参観、会社の研修と面接、講演会といった場面でも手話通訳の依頼があります。

手話通訳士

「サポみやぎ」は青葉区で働ながら月に数回、宮城県知事や仙台市長の記者会見などで手話通訳の仕事をしています。

高田さんが苦笑いをして思い返すのは、ステイジイベントでお笑いコンビの手話通訳を担当した時のこと。コンビの掛け合いの中で、1人に「通訳の方も困るでしょう」といじられてしまいました。

とっさに手話通訳を続けましたが「話しかけられていないことに反応しなくてはいけなし、通訳もしなくてはいけないし、本当に大変でした」と振り返ります。



手話で職員と会話をする高田さん

高田さんは3種類ある手話の資格のうち、最も難しい手話通訳士の資格を4年前に取得しました。試験は年1回、平均合格率13・7%の狭き門。試験に合格して手話通訳士として登録した人は全国で4378人、宮城県は35人しかいません。

最難関の試験を突破した高田さんですが、分かりやすく伝えるための努力を今も続けています。「手話通訳士になったから上手になるわけではなく、日々勉強、一生涯勉強です」と謙虚に話します。

社会との意思疎通を図る

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

この日 何の日

◇7日(日) 世界食品安全の日
国連が2018年12月に制定しました。世界では毎年約6億人が安全でない食品が原因となる病にかかっています。食品安全の必要性を多くの人に認識してもらう狙いがあるんだよ。

きょうの紙面

- 2面 作って遊んでサイエンス
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて話して こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 高田ルリ子さんに聞く